

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月28日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東  
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 滋美  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 中橋 俊和 (TEL) 06-6945-5611  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	13,135	△1.4	489	△1.5	507	1.7	273	13.6
24年3月期第3四半期	13,327	3.3	497	△2.4	498	△1.2	240	△0.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第3四半期	47.61		—					
24年3月期第3四半期	41.90		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,052	5,340	53.1
24年3月期	11,700	5,161	44.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,340百万円 24年3月期 5,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	0.3	750	3.9	740	0.1	394	7.7	68.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	5,750,000株	24年3月期	5,750,000株
25年3月期3Q	205株	24年3月期	205株
25年3月期3Q	5,749,795株	24年3月期3Q	5,749,907株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調がみられたものの、欧州債務危機の長期化や近隣諸国との関係悪化が企業業績にも影響し、先行きは不透明な状況で推移しております。

当貨物自動車運送業界においても、国内貨物輸送量は依然低迷しており、加えて燃料価格の高止まりや価格競争の激化等もあり厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓及び既存荷主への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実と安全対策にも注力してまいりました。

当第3四半期累計期間の業績につきましては、大手顧客のシステム変更に伴う組織統合等により運送事業の売上が増加しましたが、商品販売事業の売上が大幅減となったことにより、売上高は131億35百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

利益面につきましては、業務の効率化による経費削減に努めたものの、将来の事業展開に備えた事務所経費並びに安全対策費用等の増加により、営業利益は4億89百万円（同1.5%減）、経常利益は5億7百万円（同1.7%増）、四半期純利益は2億73百万円（同13.6%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①運送事業

当事業につきましては、売上高は92億46百万円（前年同期比5.3%増）となり、セグメント利益は6億73百万円（同18.3%増）となりました。これは事務所移転業務の獲得、店舗設備関連業務の大型案件の受託並びに大手顧客のシステム入れ替え業務等によるものです。

#### ②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は21億73百万円（前年同期比1.1%減）となり、セグメント利益は3億91百万円（同20.5%減）となりました。これは文書保管業務の売上の減少並びに一部倉庫の補修工事に伴う代替倉庫賃料、移動費用等のコストが発生したことによるものです。

#### ③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は8億79百万円（前年同期比41.4%減）となり、セグメント利益は50百万円（同19.3%減）となりました。これはOAトナー販売が大手顧客のシステム入れ替えに伴い減少したことや、梱包資材の販売が減少したことによるものです。

#### ④その他

当事業につきましては、売上高は8億35百万円（前年同期比1.0%減）となり、セグメント利益は73百万円（同23.4%増）となりました。これは駐車場事業が減収となったものの、福祉用具レンタル業務の売上が増加したことによるものです。

### （2）財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は100億52百万円となり、前事業年度末に比べ16億47百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、営業未収入金が回収により11億44百万円減少し、商品が2億26百万円減少いたしました。

また、負債は47億12百万円となり、前事業年度末に比べ18億26百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が11億30百万円減少し、借入金が3億11百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ1億78百万円増加して53億40百万円となり、自己資本比率は9.0ポイント増加し53.1%となりました。

### （3）業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成24年10月29日発表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,158,155	1,003,497
受取手形	393,278	416,171
営業未収入金	2,874,436	1,730,362
商品	252,146	25,861
その他	242,421	256,758
貸倒引当金	△26,141	△17,172
流動資産合計	4,894,295	3,415,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,803,001	2,680,931
機械装置及び運搬具（純額）	89,437	96,589
土地	2,788,437	2,788,437
その他（純額）	55,615	56,129
有形固定資産合計	5,736,491	5,622,088
無形固定資産	124,740	119,413
投資その他の資産		
投資有価証券	110,856	99,883
差入保証金	605,391	606,783
その他	282,868	261,029
貸倒引当金	△53,793	△71,751
投資その他の資産合計	945,322	895,944
固定資産合計	6,806,554	6,637,446
資産合計	11,700,849	10,052,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	48,079	37,443
営業未払金	2,012,251	881,662
短期借入金	950,000	1,118,000
1年内返済予定の長期借入金	627,380	594,280
未払法人税等	208,210	75,357
賞与引当金	186,731	81,579
その他	508,530	421,433
流動負債合計	4,541,183	3,209,756
固定負債		
長期借入金	1,457,750	1,011,590
退職給付引当金	191,346	166,137
役員退職慰労引当金	148,380	125,600
その他	200,377	199,433
固定負債合計	1,997,853	1,502,760
負債合計	6,539,037	4,712,517

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	333,150
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	4,730,595	4,906,576
自己株式	△91	△91
株主資本合計	5,159,604	5,335,585
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,208	4,822
評価・換算差額等合計	2,208	4,822
純資産合計	5,161,812	5,340,407
負債純資産合計	11,700,849	10,052,925

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	13,327,696	13,135,238
売上原価	10,882,074	10,669,322
売上総利益	2,445,622	2,465,916
販売費及び一般管理費	1,948,322	1,975,926
営業利益	497,299	489,989
営業外収益		
受取賃貸料	32,409	30,109
その他	24,904	29,973
営業外収益合計	57,313	60,082
営業外費用		
支払利息	42,291	30,814
賃貸費用	12,286	10,272
その他	1,247	1,943
営業外費用合計	55,825	43,030
経常利益	498,787	507,041
特別利益		
投資有価証券売却益	6,000	—
特別利益合計	6,000	—
特別損失		
固定資産除却損	7,791	2,783
投資有価証券評価損	—	16,666
会員権評価損	10,629	120
会員権売却損	—	412
特別損失合計	18,420	19,982
税引前四半期純利益	486,366	487,059
法人税等	245,425	213,332
四半期純利益	240,941	273,727



(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

該当事項はありません。